



## 平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エイテイング  
コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤澤 知徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 津村 正幸

TEL 03-5753-8178

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	1,743	3.1	353	82.5	365	86.1	245	—
24年9月期第3四半期	1,690	△6.1	193	△41.6	196	△40.3	△111	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 245百万円 (—%) 24年9月期第3四半期 △111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	47.22	—
24年9月期第3四半期	△21.49	—

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。  
1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	2,144	1,641	76.5
24年9月期	1,677	1,447	86.3

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 1,641百万円 24年9月期 1,447百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。  
平成25年9月配当金予想は、当該株式分割後の金額であります。  
仮に当該株式分割前に換算すると中間配当金は1株当たり0円、期末配当金は1株当たり2,000円、年間合計では2,000円となります。

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,486	19.3	416	86.4	429	89.5	275	—	52.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	5,523,800 株	24年9月期	5,523,800 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	323,000 株	24年9月期	323,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	5,200,800 株	24年9月期3Q	5,200,800 株

(注)平成24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。  
発行済株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続をしています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	5
(5) セグメント情報等 .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるゲーム業界は、既存のゲーム機の販売が堅調だったことによるソフトの需要喚起や、ソーシャルゲームにおける有力タイトルが引き続き好評を博する等、市場は活況を呈しました。

家庭用ゲームソフト市場においては、従来のパッケージ販売に加えて、デジタル配信の形式でも販売されるゲームが徐々に増えてまいりました。自宅で容易にゲームを入手できるようになることで、更なる市場の活性化が期待されております。また、6月に米国で開催されたE3（エレクトロニック・エンターテインメント・エキスポ）に合わせて、新型ゲーム機の詳細について発表が行われたこともあり、ソフト・ハード双方について今後の需要拡大が予想されております。

一方、ソーシャルゲーム市場においては、引き続き有力タイトルが人気を博し市場を盛り上げました。また、新規に参入し急速にユーザー登録数を伸ばしているソーシャルゲームのプラットフォームに対して、大手ゲームメーカーがコンテンツの提供を相次いで開始する等、今後のさらなる盛況が予想されております。

このような環境の中、当社グループとしては、ゲームコンテンツを通じて「感動」と「喜び」をユーザーへ提供するべく、市場の変化やユーザーのニーズに柔軟に対応できるようプラットフォームやジャンルを問わない開発・運用運営体制の構築を図っております。

家庭用ゲームソフト開発においては、引き続きPS3・XBOX360・Wii U等向けソフト開発を中心にを行い、複数の大型案件の開発を並行して進めております。ソーシャルゲームについても有力タイトルの開発を進める一方、運用運営業務については手掛けるタイトル数を増やすべく、新規案件の受託に向けて動いております。

また、6月17日付で大阪スタジオの開設を決議し、7月1日より運営を開始しております。これによりソーシャルゲームを中心とする開発・運用運営の強化と安定化をより一層図ってまいります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、一部のゲームコンテンツの開発を中止いたしました。当該コンテンツについては、収益性の確保が難しくなると判断し、特別損失として減損処理いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高は1,743,019千円（前年同四半期は売上高1,690,708千円）、営業利益は353,145千円（前年同四半期は営業利益193,517千円）、経常利益は365,809千円（前年同四半期は経常利益196,554千円）、四半期純利益は245,597千円（前年同四半期は四半期純損失111,771千円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,732,497千円となり、前連結会計年度末に比べ428,800千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が422,353千円増加したことによるものであります。固定資産は411,967千円となり、前連結会計年度末に比べ38,307千円増加いたしました。

この結果、総資産は2,144,465千円となり、前連結会計年度末に比べ467,108千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は501,416千円となり、前連結会計年度末に比べ271,819千円増加いたしました。固定負債は1,700千円となり、前連結会計年度末に比べ1,700千円増加いたしました。

この結果、負債合計は503,116千円となり、前連結会計年度末に比べ273,519千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,641,348千円となり、前連結会計年度末に比べ193,589千円増加いたしました。これは主に四半期純利益245,597千円及び剰余金の配当52,008千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.5%（前連結会計年度末は86.3%）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日に公表いたしました予想を修正をしております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,078,166	1,500,519
受取手形及び売掛金	123,994	158,185
仕掛品	1,806	17,026
その他	99,730	56,766
流動資産合計	1,303,697	1,732,497
固定資産		
有形固定資産	28,422	95,998
無形固定資産		
ソフトウェア	131,355	217,154
その他	98,314	736
無形固定資産合計	229,670	217,891
投資その他の資産	115,566	98,076
固定資産合計	373,659	411,967
資産合計	1,677,356	2,144,465
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,090	26,704
未払法人税等	—	76,369
賞与引当金	—	73,940
本社移転費用引当金	31,000	—
資産除去債務	4,424	—
その他	174,082	324,401
流動負債合計	229,597	501,416
固定負債		
資産除去債務	—	1,700
固定負債合計	—	1,700
負債合計	229,597	503,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	210,351	210,351
資本剰余金	271,601	271,601
利益剰余金	1,157,819	1,351,409
自己株式	△192,013	△192,013
株主資本合計	1,447,758	1,641,348
純資産合計	1,447,758	1,641,348
負債純資産合計	1,677,356	2,144,465

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,690,708	1,743,019
売上原価	1,105,946	1,079,059
売上総利益	584,762	663,960
販売費及び一般管理費	391,245	310,815
営業利益	193,517	353,145
営業外収益		
受取利息	1	0
補助金収入	3,000	6,000
本社移転費用引当金戻入額	—	4,735
その他	495	1,928
営業外収益合計	3,496	12,664
営業外費用		
支払利息	459	—
営業外費用合計	459	—
経常利益	196,554	365,809
特別損失		
減損損失	288,811	39,728
本社移転費用	—	6,518
その他	—	23
特別損失合計	288,811	46,270
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△92,256	319,539
法人税等	19,514	73,942
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△111,771	245,597
四半期包括利益	△111,771	245,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,771	245,597

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	ゲームソフト 開発事業	モバイル コンテンツ 開発事業	ネットワーク コンテンツ 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,293,391	397,317	—	1,690,708	—	1,690,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,293,391	397,317	—	1,690,708	—	1,690,708
セグメント利益又は損失(△)	559,840	△84,283	—	475,557	—	475,557

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	475,557
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△282,039
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	193,517

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



- II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）  
当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社グループは、従来「ゲームソフト開発事業」、「モバイルコンテンツ開発事業」、「ネットワークコンテンツ開発事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、主に提供するコンテンツのハードウェアを分類の基準としたセグメント毎に開発体制を構築し、各種ゲームコンテンツの開発を行ってまいりました。その一方で、ゲームコンテンツ市場においてはネットワーク化やマルチプラットフォーム化が進展し、ハードウェア毎の開発環境が類似する傾向となりました。こうした市場の変化に対応するため、当社は開発組織の再構築を図り従来の事業セグメントを融合させ、当社の技術優位性を活かしたコンテンツ開発を推進しております。

このような状況を踏まえ、当社グループの組織構造の変更も含む事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、当第3四半期連結累計期間のセグメント記載を省略しております。